

令和元年6月16日に名古屋東急ホテルにて、名古屋地域支部総会・愛知県支部総会・講演会・懇親会が盛大に開催されました。

名古屋地域支部長に大藪淳一氏が就任!



西脇支部長

《名古屋地域支部総会》

西脇校友会愛知県支部長が八年間兼務してきました名古屋地域支部長に大藪淳一氏が就任。また、同じく兼務していた吉岡幹事長から櫻山新幹事長もバトンタッチし、新体制がスタートしました。



大藪支部長、新任のご挨拶 左は櫻山幹事長



柳谷理事長

《愛知県支部総会》

西脇支部長の挨拶に始まり、柳谷理事長より明治大学の現状報告の後、第1号議案から第4号議案まで、全議案ともに厳粛に審議され、承認されました。

《懇親会》

「おお 明治 ～僕らの校歌プロジェクト」で取材に来ていた明大スポーツ新聞部の学生さんと全日本大学野球選手権準決勝の応援から駆け付けた応援団・チアのパフォーマンスにより、200人の校友がひとつにつながり、大いに盛り上がりました。

明治大学校友会名古屋地域支部会報誌

MU News

Meiji University News

2019.11

Vol.38

令和最初の
名古屋地域・愛知県支部総会・
講演会『前へ!!北島忠治物語』
200人の大懇親会開催!

Meiji University News 年2回/5月・11月発行 発行日: 2019年11月 発行所: 明治大学校友会 名古屋地域支部 編集: 広報委員会
〒460-0012 名古屋市中区千代田五丁目7番5号 パークヒルズ千代田 8F TEL: 052-243-6112 FAX: 052-243-6130 http://aichi.meiji-shikon.net

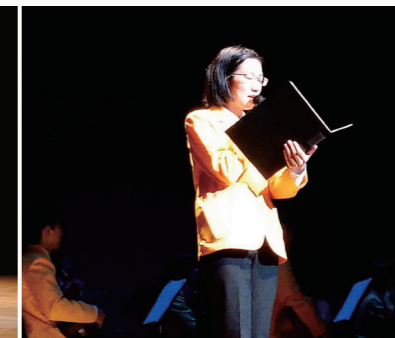
MU News 2019.11



令和元年8月26日、2年に一度のマンドリンコンサートが日本特殊陶業市民会館(名古屋市民会館)にやってきました。例年とは趣を変え、今回はゲストを招かずマンドリン倶楽部単独でのコンサートとなりました。1階席は満席となり2階席も埋まるほどの大勢の来場者のもと、第1部は自然に口ずさむなじみのある曲をアレンジしたものを中心に、第2部では古賀メロディーをメインに、ユーモアあふれる司会者と甲斐先生のトークを交えてのパフォーマンスで会場は大いに盛り上がりました。コンサート終了後には、「マンドリンコンサートはあこがれの先輩との学生時代のデートコースであり、今も大切な思い出としてコンサートを楽しみにしている」という先輩からお声がけいただく一幕もあり、校友会の真髄を実感出来た素晴らしいイベントとなりました。



閉会セレモニー



ユーモアあふれる司会



父母会の皆様と

編集後記

2020箱根駅伝予選会は2019年に限り一週間遅れ(10月26日 午前9時35分スタート)の開催となります。皆様のお手元にMUニュースが届く頃には結果が出ているかと思いますが、ダントツのトップで通過し、来年のお正月の本戦では、最低でもシード権の確保を期待したいと思います。

マンドリンコンサート盛大に開催
学生時代にタイムスリップ!

名古屋地域支部年会費の振込先
[郵便振込] ※振込料は会員負担です。
年会費/ ¥6,000
口座番号/ 00830-1-72587
加入者名/ 明治大学校友会名古屋地域支部
※加入者名義変更にご注意ください。

名古屋地域支部事務局
〒460-0012
名古屋市中区千代田五丁目7番5号
パークヒルズ千代田 8F
日本ゼネラルフード株式会社 総務部内
TEL:052-243-6112
FAX:052-243-6130

校友会愛知県支部
ホームページ広告バナー広告
協賛企業大募集

タイムリーな情報発信で、
校友の絆を深めています!
ホームページアドレス: <http://aichi.meiji-shikon.net>
ホームページに関するお問い合わせ
広報委員会: 加藤 090-8738-3530

緊急企画！

2019ラグビーW杯で日本チーム決勝トーナメント進出!! 日本の司令塔・田村優 (H23 文学部卒)

- ・1989年1月9日生、愛知県岡崎市出身。
- ・中学までサッカーに専念。國學院栃木高校に入学後、ラグビーを開始。
- ・弟の田村熙も明治大学出身(H28 経営学部卒)。



田村優の4年間

年度	監督	明早戦	田村の成績	対抗戦	大学選手権
平成19年(2007)	藤田 剛(HC)	●7-71	1G	2位	準決勝敗退(●27-34慶応)
平成20年(2008)	藤田 剛	○24-22	3G 1PG	6位	出場なし
平成21年(2009)	吉田 義人	●14-16	2G	5位	準決勝敗退(●12-43帝京)
平成22年(2010)	吉田 義人	●15-31	1G 1PG	3位	準決勝敗退(●10-74早稲田)

秩父宮賜杯 第51回全日本大学駅伝 ～関東地区選考会で、危なげなく2位通過!

日 時/令和元年11月3日(日)スタート午前8:05(テレビ朝日系列で放送予定)
区 間/名古屋市熱田神宮～伊勢市伊勢神宮内宮 8区間106.8km
応 援/午前7時頃、明治大学応援ブース(のぼり旗を目印にお越しください)
応援団とチアリーダーとの応援合戦の後、恒例の朝食会でおにぎりや豚汁を頬張りながら、明大競走部の戦いを見守りましょう!

愛知・岐阜・三重 合同 <明治はひとつ> 交流会

日 時/令和元年10月9日(水)
18:30~20:30
会 場/名鉄グランドホテル11階 柏の間



愛知県支部では第14回目となる<明治はひとつ>交流会。
今回は初めての試みとして、岐阜県支部と三重県支部の校友の皆様にもお声掛けさせていただき、三県支部合同の<明治はひとつ>交流会を開催致しました。
余興では校友メンバーが率いるバンド演奏、コインジャンケンゲーム、そして締めには明大校歌で80名の校友がひとつになり、大いに盛り上がりました。

昨年の～御大 島岡吉郎物語～に続き、今年も講談独特の心地いいテンポとリズムで、22シーズンぶりに大学ラグビー日本一に再び咲いた『明治大学ラグビー部』初代監督・北島忠治の67年間の語られました。



<北島監督の歩み>

- 大正10年相撲部に入部するも、ラグビー部主将からメンバー不足のため助っ人を頼まれ試合に出場。『ルール絶対』がいいと、ラグビーに魅せられる。“フェアプレーの精神”を培う。
- 大正14年再入学とともに、ラグビー部に入部。
- 昭和4年、卒業と同時に初代監督に就任。
- 昭和9年、みゆきさんと結婚。
- 昭和13～15年、初の三連覇。
- 昭和47年、12年間の低迷期を乗り越え、大学選手権日本一に。
- 昭和51年、日本選手権 初優勝。
- 昭和53年、みゆき夫人他界。夫人の最後の言葉が『明治、前へ』。
- 平成8年、北島監督逝去。
人間としての生き方をラグビーを通して1,500人もの選手たちに教えた“心の教育者”でもある。北島監督は「前へ」という言葉を人生に置き換えて使っていた。
- 北島監督の著書で、みゆき夫人の一番好きなフレーズ『ラグビーの80分間は本当につらい。そしてその80分間を戦うための一年間の練習はもっとつらい。その苦しみに耐えることができるのはノーサイドの笛があるからだと思いません。敵と味方がお互いを認め合う心。どちらか一方が中途半端な気持ちでぶつかったならとてもそんな気持ちになれない。お互いとことんぶつかり合ってこそ、初めて認め合うこともできる。費やした歳月、味わう喜びと悲しみと引き換えに得たものは、“ノーサイドという果てしない心の地平線”でした。』

特別講談

「前へ!! 北島忠治物語」

講談師.. 一龍齋 貞寿